

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 北越メタル株式会社
 コード番号 5446 URL <http://www.hokume.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 頼幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 米山 克己
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 0258-24-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	23,737	—	1,501	—	1,487	—	816	—
20年3月期第3四半期	18,561	7.4	796	△55.3	787	△55.4	529	△45.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	40.97	—
20年3月期第3四半期	26.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	27,880	—	13,665	—	49.0	—	686.03	—
20年3月期	25,166	—	13,057	—	51.9	—	655.15	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 13,665百万円 20年3月期 13,057百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,460	12.8	2,150	171.9	2,100	175.0	870	79.7	43.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 19,970,000株 20年3月期 19,970,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 50,000株 20年3月期 39,055株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 19,926,883株 20年3月期第3四半期 19,936,555株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日に公表いたしました配当予想は、本資料において修正しております。

— 詳細につきましては、本日開示しております「平成21年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 平成20年11月6日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

— 詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

— 従って、今後の主原料である鉄スクラップ価格や鋼材市況等の変動により、業績予想値が変わる可能性があります。

4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライム問題による金融不安に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、企業収益が悪化し個人消費も低迷するなど、景気の減速感が一層強まりました。

当社グループの関連業界でも、このような経済環境を受け、鋼材需要が減少しました。また、鉄スクラップ価格の高騰や諸資材価格の上昇から、上半期は大幅なコストアップとなり収益が悪化しましたが、期後半の鉄スクラップ価格の急落に伴い、収益は改善されました。

このような状況下、当社グループは、製品販売価格の改善・維持に注力するとともに、需要に見合った生産・販売に徹し、鋭意取り組んでまいりました。

その結果、第3四半期累計期間における連結売上高は、製品販売価格の改善などから、23,737百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

収益面では、製品販売価格の改善と鉄スクラップ価格が急落したことにより、経常利益は1,487百万円（前年同期787百万円の経常利益）、四半期純利益は816百万円（前年同期529百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,713百万円増加して、27,880百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比1,390百万円の増加）、製品販売価格の改善等による売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比1,775百万円の増加）等により、流動資産が前連結会計年度末に比べ、2,892百万円増加して、17,665百万円になったことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,105百万円増加して、14,214百万円となりました。

これは主に、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比640百万円の増加）等により、流動負債が前連結会計年度末に比べ、775百万円増加して、11,854百万円となり、長期借入金の増加（前連結会計年度末比1,356百万円の増加）等により、固定負債が前連結会計年度末に比べ、1,329百万円増加して、2,359百万円になったことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ607百万円増加して、13,665百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間において、四半期純利益816百万円を計上したこと等によるものであります。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の51.9%から2.9ポイント減少して、当第3四半期連結会計期間末には49.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前回予想（平成20年11月6日）から修正しております。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、期末配当金につきましても、前回予想（平成20年5月14日）から修正しております。

詳細につきましては、本日開示しております「平成21年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、従来、製品、半製品及び仕掛品については総平均法による低価法、主要原材料については移動平均法による低価法、主要原材料を除く原材料及び貯蔵品については移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、製品、半製品及び仕掛品については総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)、原材料及び貯蔵品については移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

①有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されたことにより、第1四半期連結会計期間より機械装置の一部について耐用年数を変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,409,759	3,018,852
受取手形及び売掛金	9,629,088	7,853,714
製品	1,155,703	1,288,737
半製品	854,798	904,135
原材料	943,008	1,107,543
仕掛品	67,154	87,340
貯蔵品	238,468	254,629
繰延税金資産	144,311	83,407
その他	258,645	190,411
貸倒引当金	△35,657	△16,448
流動資産合計	17,665,280	14,772,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,808,315	7,690,123
減価償却累計額	△4,451,449	△4,314,037
建物及び構築物(純額)	3,356,866	3,376,085
機械装置及び運搬具	18,342,920	18,083,399
減価償却累計額	△15,101,241	△14,732,447
機械装置及び運搬具(純額)	3,241,678	3,350,951
工具、器具及び備品	1,760,501	1,660,621
減価償却累計額	△1,363,280	△1,303,672
工具、器具及び備品(純額)	397,220	356,949
土地	1,858,266	1,858,395
建設仮勘定	100,254	119,248
有形固定資産合計	8,954,287	9,061,629
無形固定資産		
ソフトウェア	13,938	4,362
その他	3,831	3,910
無形固定資産合計	17,769	8,272
投資その他の資産		
投資有価証券	1,053,365	1,140,765
繰延税金資産	135,614	84,895
その他	67,553	112,635
貸倒引当金	△13,840	△14,020
投資その他の資産合計	1,242,693	1,324,275
固定資産合計	10,214,750	10,394,178
資産合計	27,880,030	25,166,501

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,990,836	7,577,172
短期借入金	2,535,348	2,478,161
1年内償還予定の社債	—	480,000
未払法人税等	708,912	68,733
その他	619,342	474,439
流動負債合計	11,854,439	11,078,505
固定負債		
長期借入金	1,759,746	403,208
退職給付引当金	486,502	488,943
役員退職慰労引当金	113,639	138,137
固定負債合計	2,359,888	1,030,289
負債合計	14,214,327	12,108,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,261,897	9,565,122
自己株式	△14,204	△12,282
株主資本合計	13,616,569	12,921,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,133	135,989
評価・換算差額等合計	49,133	135,989
純資産合計	13,665,703	13,057,706
負債純資産合計	27,880,030	25,166,501

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	23,737,082
売上原価	20,469,067
売上総利益	3,268,014
販売費及び一般管理費	1,766,629
営業利益	1,501,385
営業外収益	
受取利息	4,047
受取配当金	26,215
持分法による投資利益	8,273
受取賃貸料	7,896
その他	13,221
営業外収益合計	59,655
営業外費用	
支払利息	53,593
手形売却損	3,969
その他	16,001
営業外費用合計	73,565
経常利益	1,487,475
特別利益	
前期損益修正益	45,204
固定資産売却益	1,434
貸倒引当金戻入額	180
その他	1
特別利益合計	46,819
特別損失	
固定資産売却損	1,185
減損損失	128
固定資産除却損	13,106
投資有価証券評価損	2,273
特別損失合計	16,693
税金等調整前四半期純利益	1,517,601
法人税等	701,254
四半期純利益	816,346

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,517,601
減価償却費	693,393
減損損失	128
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,441
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24,498
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,029
受取利息及び受取配当金	△30,262
支払利息	57,563
持分法による投資損益(△は益)	△8,273
有形固定資産売却損益(△は益)	△248
有形固定資産除却損	13,106
売上債権の増減額(△は増加)	△1,775,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	396,386
仕入債務の増減額(△は減少)	413,664
前期損益修正損益(△は益)	△45,204
その他	△19,862
小計	1,205,067
利息及び配当金の受取額	33,015
利息の支払額	△60,894
法人税等の支払額	△121,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,055,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△14,500
定期預金の払戻による収入	53,000
有形固定資産の取得による支出	△476,344
有形固定資産の売却による収入	3,395
無形固定資産の取得による支出	△11,780
投資有価証券の取得による支出	△140
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△4,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△450,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△138,809
長期借入れによる収入	2,180,000
長期借入金の返済による支出	△627,466
社債の償還による支出	△480,000
自己株式の取得による支出	△1,921
配当金の支払額	△107,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	824,051
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,429,406
現金及び現金同等物の期首残高	2,849,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,279,159

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	18,561,211
II 売上原価	16,019,261
売上総利益	2,541,950
III 販売費及び一般管理費	1,745,044
営業利益	796,906
IV 営業外収益	50,553
V 営業外費用	60,315
経常利益	787,144
VI 特別利益	5,135
VII 特別損失	66,891
税金等調整前四半期純利益	725,388
法人税等	177,037
少数株主利益	18,418
四半期純利益	529,932